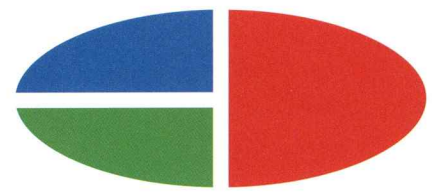


Quality
First



EDCグループ
Group Guide

技術
信頼

教育
情熱

未来
創造



「産学研協同ネットワーク」で育んだ 高度な技術と品質で情報社会の発展に貢献します。

EDCグループは、システム開発と宇宙開発(産)、情報教育(学)、研究(研)という3つの領域を基盤とする「産・学・研協同」の複合グループです。豊かな高度情報社会を形成するためには、高度な専門知識をもつソフトウェア・エンジニアの育成と情報産業の成熟が不可欠であるという理念のもと、創業以来一貫して産学研協同による研究開発・事業開発に取り組んできました。

グループの中核企業である株式会社SCCは、システム開発からインターネットによるサービスまで提供するトータル・ソリューション・カンパニーです。宇宙技術開発株式会社は、宇宙航空研究開発機構(JAXA)の草創期からその業務に携わってきました。その歴史は、日本の宇宙開発史そのものといっても過言ではありません。

教育機関には、北海道情報大学(HIU)と全国10拠点に情報専門学校を展開する電子開発学園(EDC)があります。大学と専門学校は、高速回線を用いた双方向通信教育で結ばれており、大学と専門学校の卒業資格の同時取得を実現するなど、その教育哲学はわが国の情報教育の中でも独自の位置を占めています。

さらに、より高度な情報化研究を進める機関として、第3セクター方式で設立された北海道情報技術研究所(HiiT)があります。HiiTは通信ネットワークの高度利用に関する研究開発のための施設で、特にインターネットを利用したeラーニングの開発に力を注いでいます。

これら、SCCとSEDの「産業」、HIUとEDCの「学校」、HiiTの「研究」が融合して、北は北海道から南は九州・沖縄まで全国ネットワークを構築しています。EDCグループは、これから地域に密着した情報サービスの総合企業体として、高度な品質で情報社会に貢献し、お客さまとともに繁栄し続けていきたいと考えています。



代表取締役社長
理事 長 **松尾 泰**
Matsuo Toru

株式会社SCC Software Consultant Corporation

EDCグループの中核企業として、システムソリューションサービス、システム開発を中心に、ソフトウェア製品、eラーニング・コンテンツサービス、コンサルティングサービス等のトータルソリューションを提供します。



本社・本社別館：東京都中野区
支店：札幌、名古屋、大阪、福岡

宇宙技術開発株式会社 Space Engineering Development Co.,Ltd.

EDCグループの宇宙関連事業を担う企業として、これまで培ってきたノウハウと高度な専門技術をもって、日本の宇宙開発プロジェクトをサポートします。



本社：東京都中野区
拠点：筑波、種子島、旭山、鎌倉、勝浦、増田、沖縄、内之浦、江別

Technology
Reliability

「技術」と「信頼」

EDCグループ

光の三原色である青・赤・緑は、グループの基本理念である「産学研協同」の産・学・研を表しています。また、この三原色であらゆる色を創り出すことができ、三色が重なったときには白色光(透明)になることから「企業の無限の広がり可能性」という意味を込めています。

「教育」と
「情熱」

Education
Passion

「未来」と「創造」

Future Creation

北海道情報大学 Hokkaido Information University

自然豊かな大地で高度化した情報社会で活躍できる豊かな人間性と知識を持った人材を育成します。



北海道江別市

電子開発学園 Electronics Development Computer College

北海道から鹿児島におよぶ全国10校の情報専門学校によって、次世代のITスペシャリストを育成します。



- 北海道情報専門学校
- 新潟情報専門学校
- 名古屋情報メディア専門学校
- 名古屋医療情報専門学校
- 大阪情報専門学校
- 広島情報専門学校
- KCS北九州情報専門学校
- KCS福岡情報専門学校
- KCS大分情報専門学校
- KCS鹿児島情報専門学校

HiiT 北海道情報技術研究所 Hokkaido Institute of Information Technology

最先端情報技術のR&Dフィールド。
新たな視点で未来の基盤技術を創造します。



北海道江別市

EDCグループ

ENDCグループ

 **株式会社SCC**
Software Consultant Corporation

IT社会の基盤となる高品質なシステムと洗練された
サービス&コンテンツで、トータルソリューションを提供します。

 **宇宙技術開発株式会社**
Space Engineering Development Co.,Ltd.

ロケットの打ち上げ支援から、宇宙ステーション管制支援まで
宇宙開発に係わるサービスを提供します。

 **北海道情報大学**
Hokkaido Information University

自然豊かな大地で高度化した情報社会で活躍できる
豊かな人間性と知識を持った人材を育成します。

 **電子開発学園**
Electronics Development Computer College

北海道から鹿児島におよぶ全国10校の情報専門学校によって、
次世代のITスペシャリストを育成します。

HiIT **北海道情報技術研究所**
Hokkaido Institute of Information Technology

最先端情報技術のR&Dフィールド。
新たな視点で未来の基盤技術を創造します。

Quality
First



株式会社SCC
Software Consultant Corporation

Corporate Profile

The primary color of light, "blue", "red" and "green" not only creates various colors but when they fuse together it can produce white(transparent) light like the ray of light.

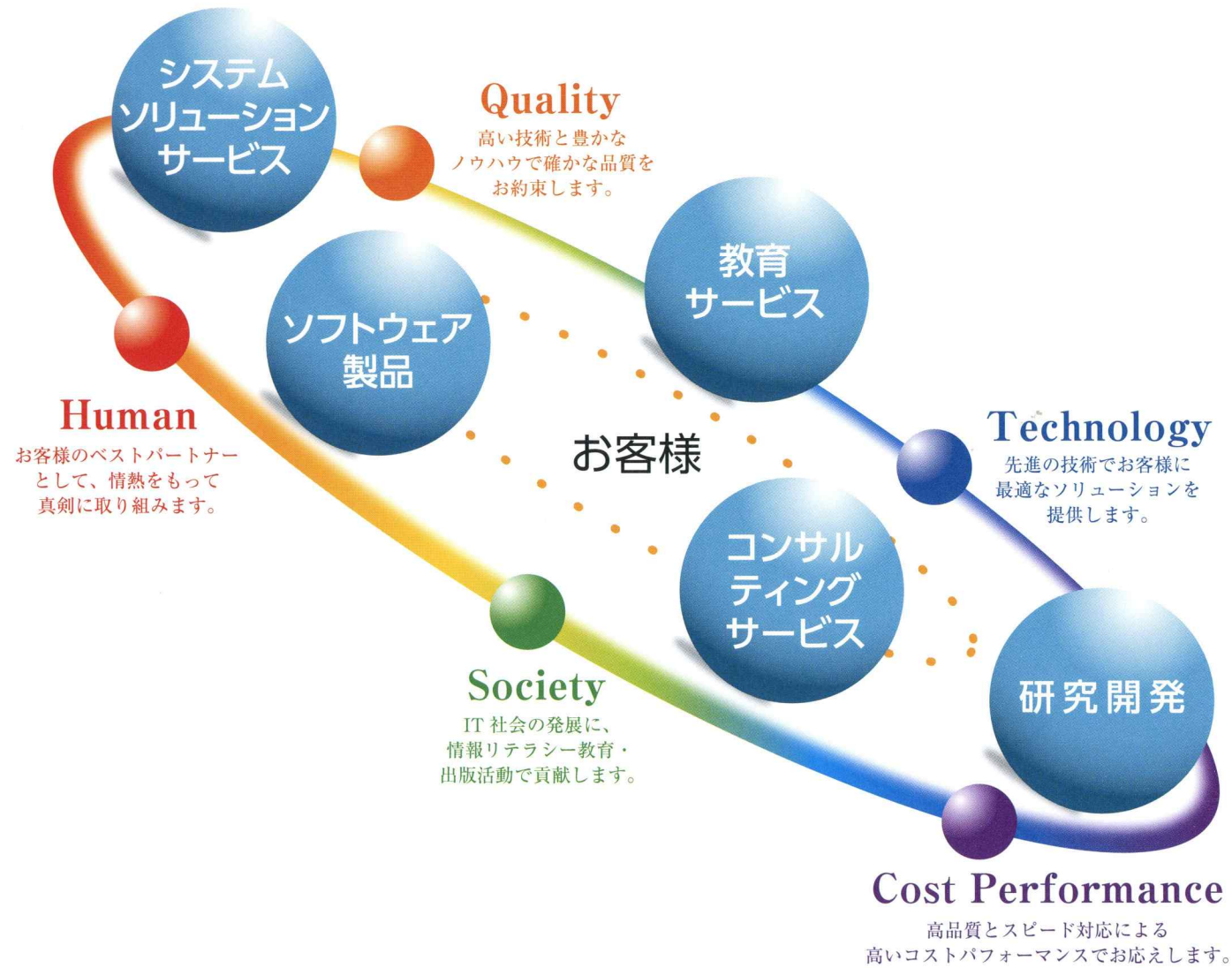
It represents the unlimited potential of the company.

技術
信賴

教育
情熱

未来
創造

高品質なシステムと洗練されたサービス&コンテンツで お客様のベストパートナーを目指します。



Business Field

1 システムソリューションサービス

お客様のベストパートナーとして、品質・納期厳守を第一に、システム企画提案から、システム開発、稼働後の運用保守までのトータル・ソリューションを提供します。

■ コンサルティング・企画サービス

- ビジネス業務分析
- システム要件分析

■ システム開発サービス

- Webシステム、クラウドコンピューティングシステムの構築
- ビジネス系、基幹系、汎用系システムの構築
- 組み込み系、制御系ソフトウェアの開発

■ システム導入・構築サービス

- システム基盤構築
(ネットワーク構築、システムインフラ構築(O/S、D/B、ミドルウェア))
- 環境構築
(開発環境、試験環境、本番環境、サーバ環境、他)
- システム性能チューニング

■ 運用保守サービス

- オンサイト問い合わせ受付、24時間365日問い合わせ受付
- 運用保守設計、運用保守マニュアル作成支援

■ 主な開発実績

- 金融：ポータルサイト、クレジットカード決済、債権管理、コールセンター、ブロックチェーン送金管理(SWIFT)、決済代行、セキュリティ強化対策、インターネットバンキング
- 証券：証券決済
- 組込：カーナビゲーション
- 運輸：設備管理、道路渋滞状況管理、座席予約、納期管理
ARとVRを使った点検管理教育システム
- 医療：健康診断管理、医療支援
- 小売：POSレジ管理、販売管理、ポイント管理、受発注管理、在庫管理、受払管理
- 流通：梱包管理、配送管理、配車管理、入出庫管理
- セキュリティ強化対策：ネットワークセキュリティ、システムセキュリティ、DBセキュリティ

2 ソフトウェア製品

システム開発で培った業務ノウハウを結集して開発した、コストパフォーマンスの高い多彩なソフトウェア製品で、お客様のベストソリューションを提供します。

■ セキュリティ

■ IceWall SSO

一度の認証手続きで複数のWEBサイトやアプリケーションにアクセスできるシングルサインオンを実現するミドルウェアを提供します。
※IceWallSSOは日本HP社との共同開発製品です。

■ 健康診断管理

■ 健診ヘルパー

健康診断の一連の業務を行う製品です。
小規模から大規模な医療機関で使用でき、特定保健指導に対応しています。

■ 健康管理支援サービス

■ クラウド型健診Web予約サービス

Webで健康診断の予約が出来るサービスです。

■ 開発支援

■ Visual Basic 移行支援サービス

Microsoft Visual Basic 6.0で構築されたシステムをJAVAまたは最新のVisual Basic.netに変換するサービスを提供します。

■ スマートフォン・携帯電話・PCによる情報活用

■ iFAD (アイファド)

企業のマーケティングや研修アンケート、注文受付等の環境を簡単に構築できるサービスです。

■ 業務支援

■ ストレスチェックWebサービス

PCやスマートフォンから簡単に職業性ストレス簡易票(57項目)に準拠したストレスチェックを実施できるサービスです。
※労働安全衛生法の改正により2015年12月1日からストレスチェックが義務化されました。

3 教育サービス

eラーニングコンテンツ、インターネットを利用した遠隔教育システム、IT関連書籍等の教育環境とコンテンツを提供します。

■ eラーニング提供サイト(itbox.jp)

情報処理技術者試験や情報セキュリティ教育のeラーニングを提供しています。
インターネットに接続したPCやスマートフォンで、いつでも好きな場所で学習が可能です。

■ 資格試験対策コース

- ITパスポート試験対策
- 基本情報技術者試験対策

■ SCC Booksの出版

電子開発学園(EDCグループ教育機関)と協力し、情報技術者向け書籍、PC関連書籍等を出版しています。

■ 情報処理基礎講座シリーズ

- 高校・大学・専門学校向けICT教育テキスト、他
- Javaバイブルシリーズ
- ヒューマンスキルアップ講座シリーズ
- これでわかるシリーズ
- 今日からはじめるやさしいシリーズ
- 電子書籍

4 コンサルティングサービス

各種認証(プライバシーマーク[個人情報保護]、ISMS[情報セキュリティ]、ISMS-CS[クラウドセキュリティ]、BCMS[事業継続]、QMS[品質]、EMS[環境])の取得支援や取得後の教育や監査等の運用までをトータルにサポートします。

- 個人情報保護関連サービス(Pマーク)
- 情報セキュリティ関連サービス(ISMS)
- 事業継続マネジメントシステムの構築(BCMS)
- 品質マネジメントシステムの構築(QMS)
- 環境マネジメントシステムの構築(EMS)
- 標的型攻撃メール対応訓練サービス

5 研究開発

高速専用回線(広域イーサネット)を利用した双方向通信教育システム(PINE-NETII)をはじめ、さまざまな高度ICT人材育成のための教育システムを研究開発しています。

■ PINE-NETII (パインネット・ツー)

高速専用回線による遠隔教育システム。リアルタイムに双方向の授業が受けられます。フルハイビジョン映像のライブ授業に加え、VOD(ビデオ・オン・デマンド)機能や、受講者からの質問を受けたり、アンケートを集計する双方向機能などを備えています。
本システムは、北海道情報大学と電子開発学園の講義(授業)を、全国13カ所の教育機関に配信しています。

History

| | | | |
|------|--|------|---|
| 1975 | (株)EDC設立 | 1996 | PINE-NETアジア地区へ拡大(タイ、中国) |
| 1975 | ソフトウェア・コンサルタント(株)設立 | 1999 | プライバシーマーク取得 |
| 1979 | (株)SCCインターナショナル設立 | 2001 | ISO9001認証取得(品質マネジメントシステム) |
| 1983 | PINE-CAIを開発 | 2006 | ISO/IEC27001認証取得(情報マネジメントシステム) |
| 1986 | PINE-CBEを開発 | 2008 | PINE-NET IIを開発 |
| 1989 | (株)EDC、ソフトウェア・コンサルタント(株)、SCCインターナショナルの3社が合併、(株)SCCとして新発足 | 2013 | Automotive SPICE 能力レベル3達成(車載ソフトウェア開発 プロセスモデル) |
| 1991 | PINE-NET商用サービスを開始 | | |

Corporate Profile

商 号 株式会社エスシーシー(通称:株式会社SCC)
英文名:Software Consultant Corporation

所 在 地 〒164-8505 東京都中野区中野5-62-1(ENCビル)
TEL 03(3319)6611(大代表) FAX 03(3319)6999

代 表 者 代表取締役社長 松尾 泰

設立年月日 昭和50年(1975年)12月15日

資 本 金 2億6,000万円

U R L <https://www.scc-kk.co.jp>

Locations

本 社 〒164-8505
東京都中野区中野5-62-1(ENCビル)
TEL 03(3319)6611(大代表) FAX 03(3319)6999

本社別館 〒164-0001
東京都中野区中野5-36-14(ENC第2ビル)

北海道支店 〒060-0003
札幌市中央区北3条西7-1-1(緑苑ビル)
TEL 011(281)0661 FAX 011(271)4658

名古屋支店 〒460-0008
名古屋市中区栄4-15-14(栄ハイホーム)
TEL 052(242)0404 FAX 052(251)1852


関西支店 〒553-0005
大阪市福島区野田5-17-22(大拓ビル)
TEL 06(6461)1211 FAX 06(6461)1188

九州支店 〒810-0003
福岡市中央区春吉1-11-18
TEL 092(724)8555 FAX 092(724)8605



 **株式会社SCC**
Software Consultant Corporation

IT社会の基盤となる高品質なシステムと洗練された
サービス&コンテンツで、トータルソリューションを提供します。

 **宇宙技術開発株式会社**
Space Engineering Development Co.,Ltd.

ロケットの打ち上げ支援から、宇宙ステーション管制支援まで
宇宙開発に係わるサービスを提供します。

 **北海道情報大学**
Hokkaido Information University

自然豊かな大地で高度化した情報社会で活躍できる
豊かな人間性と知識を持った人材を育成します。

 **電子開発学園**
Electronics Development Computer College

北海道から鹿児島におよぶ全国10校の情報専門学校によって、
次世代のITスペシャリストを育成します。

 **北海道情報技術研究所**
Hokkaido Institute of Information Technology

最先端情報技術のR&Dフィールド。
新たな視点で未来の基盤技術を創造します。



ISO/IEC 27001:2013 認証取得
(JUSE-IR-074)

ISO9001:2015 認証取得
(JUSE-RA-0404)

顧客要求事項に基づくソフトウェアの
設計・開発・保守(顧客先常駐業務を
除く)



Quality
First



SPACE ENGINEERING DEVELOPMENT Co.,Ltd.

宇宙技術開発株式会社

Corporate Profile

The primary color of light, "blue", "red" and "green" not only creates various colors but when they fuse together it can produce white(transparent) light like the ray of light.

It represents the unlimited potential of the company.

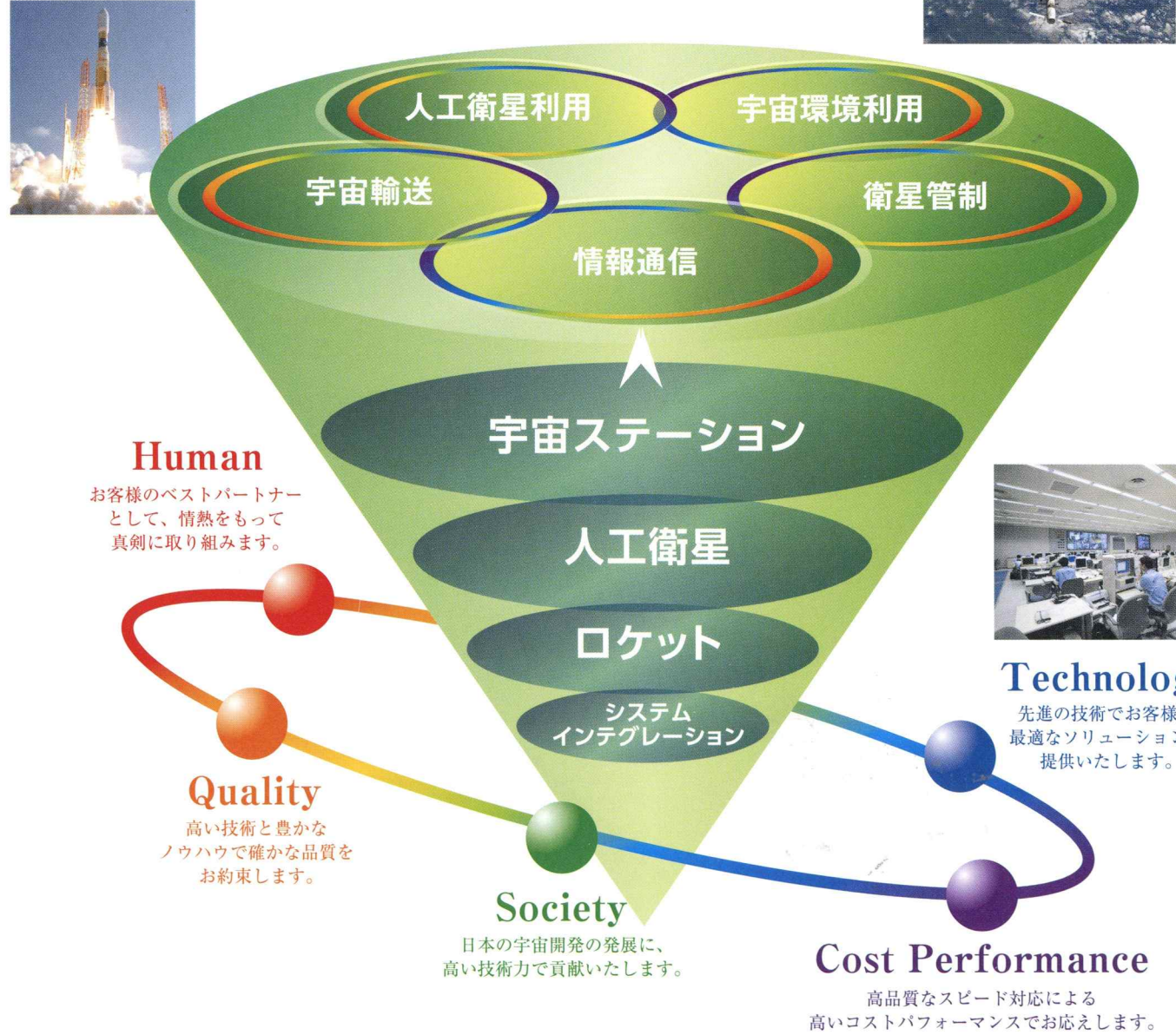
技術
信賴

教育
情熱

未来
創造

高品質な専門技術を有する ソリューションプランナー企業として 日本の宇宙開発に貢献し続けます。

私たち宇宙技術開発株式会社(略称SED)は、日本の宇宙開発とともに歩み、
培った高い技術力で宇宙開発プロジェクトを支えてまいりました。
新たな価値を創造しながら、今後も豊かな経験を踏まえて、宇宙開発のコーディネータ、
高品質なサービスを提供する専門企業として社会に貢献してまいります。



ISOマネジメントシステムへの取り組み



Business Field

1 宇宙輸送

ロケットの打ち上げにおいて飛行情報を監視する飛行安全管理システムの開発と運用をはじめ、ロケットを追跡する地上局の保守・運用を行っています。
またロケットの設計開発を支援する各種ソフトウェア開発と各種解析を行っています。

- 飛行安全管理システムの開発と運用
- 射場設備の開発・保守・運用
- ロケット飛行の解析と評価
- 射場系情報システムの整備

2 衛星管制

軌道上の人工衛星を追跡する追跡ネットワークと軌道力学、
人工衛星の技術評価と各種解析業務等の技術サービスを行っています。

- 世界規模の追跡ネットワーク管制
- 衛星追跡管制のシステムエンジニアリング
- 衛星の状態監視と制御を行う衛星管制
- 衛星の技術評価と解析

3 人工衛星利用

通信、放送、気象情報などを通じて、私たちの暮らしに役立っている人工衛星による
地球観測、測位、通信及び宇宙環境などのデータの利用普及のための研究・開発及び運用を行っています。

- 地球観測データの利用と応用
- 通信衛星利用実験の技術支援
- 衛星測位技術の開発と利用実証
- 人工衛星が利用する周波数調整

4 宇宙環境利用

国際宇宙ステーションと結合した「きぼう」日本実験棟(JEM)のシステム管制支援、軌道上での宇宙実験管制、
日本人宇宙飛行士搭乗時の情報収集・広報業務支援、宇宙飛行士訓練、さらには宇宙日本食に関する業務支援サービスを行っています。

- JEMシステムの管制
- ISSに関する情報収集・広報業務
- 宇宙実験の管制
- 宇宙日本食の調達・輸送

5 情報通信

高度な技術が求められる宇宙技術開発で培った技術力とノウハウを活かし、宇宙開発にかかわるソフトウェアの開発から
広く一般企業及び公共事業体の情報処理システムの企画・立案、設計、運用、保守までのトータルサポートを行っています。

- 人工衛星利用支援システムの開発
- セキュリティサポート
- WEBアプリケーションの開発
- 基幹系情報システムの運用と利用者支援

History

1983 宇宙技術開発株式会社創立
1985 鹿児島事業所開設
1991 筑波事業所開設
1992 南種子出張所開設
1992 種子島事業所開設(南種子出張所を統合)
鹿児島事業所を鹿児島出張所へ名称変更
1994 鹿児島出張所を種子島事業所に併合
1995 種子島事業所移転
1997 鳩山出張所開設

2000 筑波事業所移転
2001 ISO9002認証取得(品質マネジメントシステム)
2002 ISO9001認証取得(品質マネジメントシステム)
2004 種子島事業所移転
2005 内之浦出張所開設
2008 鎌倉出張所開設
2008 ISO/IEC27001認証取得(情報セキュリティマネジメントシステム)
2010 プライバシーマーク取得

Locations

本 社



〒164-0001
東京都中野区中野5-62-1 **enc**ビル
TEL 03(3319)4001(大代表) FAX 03(5380)7069

筑波事業所



〒305-0032
茨城県つくば市竹園1-12-2(第3ISSEIビル)
TEL 029(852)1711(代表) FAX 029(850)2017

種子島事業所



〒891-3703
鹿児島県熊毛郡南種子町基永178-2
TEL 0997(26)7771(代表) FAX 0997(24)4010

鳩山出張所



〒355-0063
埼玉県東松山市元宿2-27-7(高橋ビルII)
TEL 0493(31)1122(代表) FAX 0493(31)1123

鎌倉出張所



〒247-0056
神奈川県鎌倉市大船1-26-27
ニッセイ大船ビル3F
TEL 0467(47)4452 FAX 0467(47)4453

勝浦出張所



〒299-5213
千葉県勝浦市芳賀花立山1-14
宇宙航空研究開発機構 勝浦宇宙通信所内
TEL 0470(70)7811 FAX 0470(70)7020

増田出張所



〒891-3603
鹿児島県熊毛郡中種子町増田1887-1
宇宙航空研究開発機構 増田宇宙通信所内
TEL 0997(27)2727 FAX 0997(24)2018

沖縄出張所



〒904-0402
沖縄県国頭郡恩納村字安富祖金良原1712-1
宇宙航空研究開発機構 沖縄宇宙通信所内
TEL 098(967)8022 FAX 098(983)3005

内之浦出張所

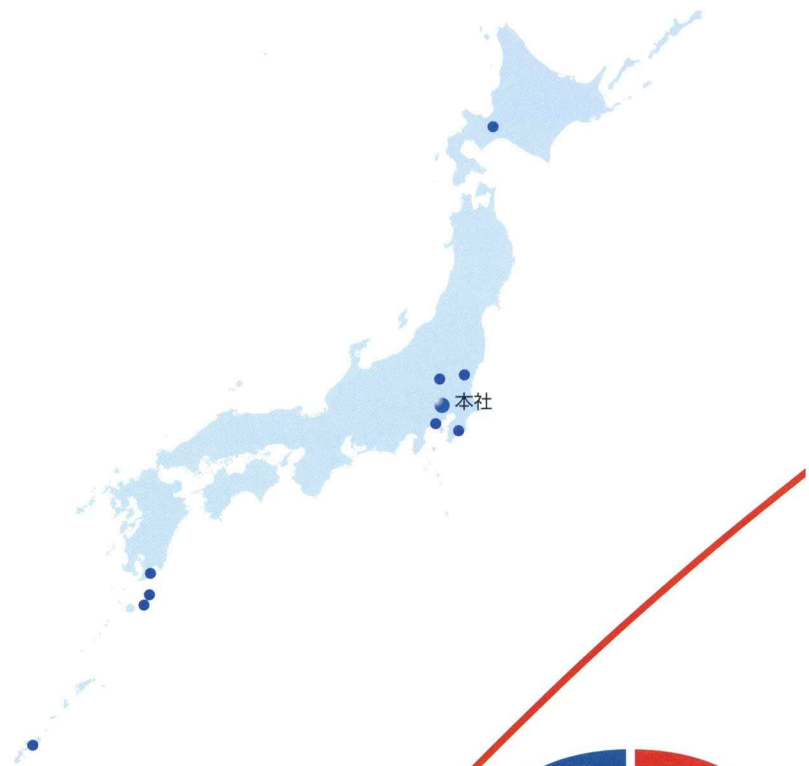


〒893-1402
鹿児島県肝属郡肝付町南方1791-13
宇宙航空研究開発機構 内之浦宇宙空間観測所内
TEL 0994(31)6621 FAX 0994(31)6622

北 海 道



〒069-0832
北海道江別市西野幌45番地
株式会社 北海道情報技術研究所内
TEL 011(382)1199 FAX 011(382)8908



株式会社SCC
Software Consultant Corporation

IT社会の基盤となる高品質なシステムと洗練されたサービス&コンテンツで、トータルソリューションを提供します。

宇宙技術開発株式会社
Space Engineering Development Co., Ltd.

ロケットの打ち上げ支援から、宇宙ステーション管制支援まで宇宙開発に係わるサービスを提供します。

北海道情報大学
Hokkaido Information University

自然豊かな大地で高度化した情報社会で活躍できる豊かな人間性と知識を持った人材を育成します。

電子開発学園
Electronics Development Computer College

北海道から鹿児島におよぶ全国10校の情報専門学校によって、次世代のITスペシャリストを育成します。

HiIT 北海道情報技術研究所
Hokkaido Institute of Information Technology

最先端情報技術のR&Dフィールド。新たな視点で未来の基盤技術を創造します。

Corporate Profile

商 号 宇宙技術開発株式会社
英文名: SPACE ENGINEERING DEVELOPMENT Co., Ltd.

所 在 地 東京都中野区中野5-62-1 **enc**ビル

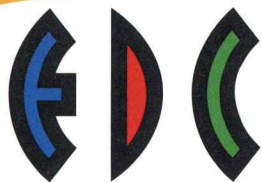
代 表 者 代表取締役社長 松尾 泰

設立年月日 昭和58年(1983年)7月23日

資 本 金 1億円

U R L <http://www.sed.co.jp>

※宇宙関連の写真は、宇宙航空研究開発機構の提供によります。



Electronics Development Computer College

電子開発学園

Electronics Development Computer College

高度化する情報化社会に対応したカリキュラムで次世代のITスペシャリストを育成します。

EDCの教育理念

EDCは1968年北海道校の開校に始まり、これまで全国10校におよぶ情報教育の専修学校を開校させ、常に時代のニーズに対応した技術者の育成に取り組んできました。その間には、コンピュータの優れた機能を活用した個別学習システム(PINE-CAI)や、通信衛星を利用したマルチメディア教育システム(PINE-NET)などを次々に導入し、現在は高速回線を利用した、より先進的な双方向型の遠隔教育システム「PINE-NETII」を運用しています。

さらに、情報技術(IT)の高度化に対応したコース編成・カリキュラムもいち早く導入し、時代のニーズに応えたIT技術者を産業界に送り出しています。医療分野におけるIT化の進展にも早期から着目して医療情報系の人材を育成してきました。また、2019年からAI, IoT, ビッグデータ等の教育カリキュラムを導入し、来るべきSociety 5.0社会に向けて国策に対応したエンジニアの育成を推進していきます。EDCはこれからもIT教育の先駆的役割を果たすとともに、地域の情報化に貢献していきます。

EDCの特色

大学の専門知識と専門学校の実践技術。目的とニーズに合わせた選択が可能です。

大学併修コース(ダブルスクール)

学士+高度専門士+高等学校教諭一種免許状(情報・商業・数学)+国家資格を備えた人材を育成

EDCの専門学校の卒業資格(高度専門士)と北海道情報大学の卒業資格(学士)を同時に取得できるコースです。専門学校内にある大学の教育センターに通学し、高速専用インターネットを利用した遠隔教育システム(PINE-NETII)で大学と専門学校の授業を受講します。大学の専門知識と専門学校の実践技術を身に付け、就職に有利な資格も取得することができます。

修業年限

4年

AI・システム開発専攻

情報セキュリティ専攻

マルチメディア専攻

医療情報専攻

教職課程専攻

* 大学併修コースの学生は、北海道情報大学通信教育部 経営ネットワーク学科/システム情報学科とのダブルスクールになります。

専門学校コース

IT社会をリードするスペシャリストを育成

日々急速に発展するIT社会のニーズに合わせ、常に最先端のカリキュラムで人材を育成する、それがEDCの専門学校です。目標に合わせている様々な分野と修業年限(1~3年)を組み合わせて選択でき、これまでに、多数の優秀な卒業生を社会に送り出してきました。実践的で活きたITをベースとする教育は、IT社会をリードする資格と技術を身に付けたスペシャリストを育成しています。

修業年限

3年/
2年/

AI・システム開発系

ゲーム・CG系

eビジネス系

医療情報・医療事務系

*各専門学校によって、設置分野、修業年限は異なります。

教育ネットワーク

全国に10校を展開するEDCの教育ネットワーク

文部科学大臣「職業実践専門課程」認定校



北海道情報専門学校



新潟情報専門学校



名古屋情報メディア専門学校



名古屋医療情報専門学校



大阪情報専門学校



広島情報専門学校



KCS北九州情報専門学校



KCS福岡情報専門学校



KCS大分情報専門学校



KCS鹿児島情報専門学校

全国を結ぶ 多彩な教育ネットワークシステム

PINE-NET II

PINE-NET IIは、高速回線による遠隔教育システム。全国どこからでもリアルタイムに双方向の授業を受けることができます。従来のライブ形式のメディア授業に加え、VOD(ビデオ・オン・デマンド)機能や、受講者からの質問を受けたりアンケートを集計する双方向機能などを備えた、利便性の高い教育システムです。

北海道情報技術研究所内のスタジオから、EDCと大学の授業をハイビジョン放送に対応した高品質な映像で配信し、日本各地のEDCの専門学校(北海道情報大学教育センター)で受講することができます。またEDCの専門学校からも授業を配信することができます。



PINE-NET II の主な特徴

- 高速専用インターネットの利用
- ハイビジョン放映対応
- eラーニング利用
- マルチベンダーの技術を集結
- ビデオ・オン・デマンド機能
- 双方向機能の強化

ベンダー企業との連携による教育を実践

マイクロソフト、日本オラクルなどのIT企業と連携し、企業が認定している技術者育成の教育プログラムを導入。世界共通で認められている技術資格の取得をめざし、企業が求める人材を育成しています。

<取得目標のベンダー資格>

MCP(マイクロソフト認定資格)、オラクルデータベース(オラクル認定資格)、Java SE(オラクル認定資格)、SEA/J(情報セキュリティ技術認定資格)、Network+(CompTIA認定資格) 他

<取得目標の国家資格および検定試験>

高等学校教諭一種免許状(情報・商業・数学)、情報処理安全確保支援士*、応用情報技術者*、基本情報技術者*、ITパスポート*、CGクリエイター検定、CGエンジニア検定、マルチメディア検定、情報検定(J検)、ビジネス能力検定(B検)、医療情報技師能力検定・医療情報基礎知識検定(日本医療情報学会)、医療事務管理士、日商簿記検定、他 *国家試験

<参加教育プログラム>

- *マイクロソフト イマジン アカデミー
- *オラクルアカデミー
- *SEA/Jアカデミー
- *CompTIA CAPPアカデミー

Microsoft Imagine Academy



ORACLE
Academy



EDCの沿革

- 1968年 北海道電子計算機専門学校 開校
- 1969年 九州電子計算機専門学校 福岡校 開校
- 1970年 名古屋電子計算機専門学校 開校 *開校50周年
新潟電子計算機専門学校 開校 *開校50周年
- 1980年 名古屋情報経理専門学校 開校
- 1981年 大阪電子計算機専門学校 開校
- 1982年 九州電子計算機専門学校 小倉校 開校
- 1984年 九州電子計算機専門学校 鹿児島校 開校
- 1985年 九州電子計算機専門学校 大分校 開校
- 1988年 経済産業省 情報化人材育成連携機関委嘱校となる
- 1991年 中国電子計算機専門学校 開校
- 1994年 各専門学校 大学併修コース 開設
経済産業省 情報化人材育成学科認定校となる
- 1995年 専門士(文部科学大臣認定)称号授与校認定
- 2001年 全国の専門学校名を変更(「電子計算機」から「情報」へ)
大学併修コース 教職課程(情報)設置
- 2005年 高度専門士(4年課程:文部科学大臣認定)称号授与校認定
IT特区認定校(総務省)
- 2007年 医療情報コース開設
- 2008年 名古屋医療情報(旧:名古屋情報経理)専門学校に校名変更
- 2009年 大学併修コース 教職課程(商業)設置
- 2011年 大学併修コース 教職課程(数学)設置
- 2014年 文部科学省 職業実践専門課程認定校となる
- 2017年 iCD活用企業認証SilverPlusを取得
- 2018年 情報処理安全確保支援士試験免除学科認定校となる
- 2019年 iCD活用企業認証Gold★を取得

全国ネットワーク

- 北海道情報専門学校
北海道情報大学 札幌教育センター
〒003-0806 北海道札幌市白石区菊水6条3-4-28
- 新潟情報専門学校
北海道情報大学 新潟教育センター
〒950-0901 新潟県新潟市中央区弁天2-3-13
- 名古屋情報メディア専門学校
北海道情報大学 名古屋教育センター
〒456-0062 愛知県名古屋市中区熱田区大宝4-19-14
- 名古屋医療情報専門学校
〒456-0052 愛知県名古屋市中区熱田区二番2-1-25
- 大阪情報専門学校
北海道情報大学 大阪教育センター
〒537-0022 大阪府大阪市東成区中本1-5-21
- 広島情報専門学校
北海道情報大学 広島教育センター
〒732-0816 広島県広島市南区北治山本町16-35
- KCS北九州情報専門学校
北海道情報大学 北九州教育センター
〒802-0001 福岡県北九州小倉北区浅野2-4-1
- KCS福岡情報専門学校
北海道情報大学 福岡教育センター
〒810-0003 福岡県福岡市中央区春吉1-11-18
- KCS大分情報専門学校
北海道情報大学 大分教育センター
〒870-0037 大分県大分市東春日町17-19
- KCS鹿児島情報専門学校
北海道情報大学 鹿児島教育センター
〒890-0065 鹿児島県鹿児島市郡元1-9-5

全国の教育機関で初! 「iCD Gold★」認証



電子開発学園ではiCDを取り入れたカリキュラムを2017年度から導入。企業ニーズに基づいたIT教育で情報化社会に貢献する人材育成を進めています。これらの取り組みが、IPAの「iCD活用企業認証制度」において認証ランク「Gold★(具体的な成果~ビジネス貢献)」と評価されました。教育機関では初めての認証です。



電子開発学園 専門学校本部
〒164-0001 東京都中野区中野5-62-1 EDCビル
TEL. 03-3319-4541 FAX. 03-3319-6993
URL: <https://www.edc.ac.jp/>



北海道情報大学

Hokkaido Information University

時代の先を読み、進化し続ける大学 自然豊かな大地でITのプロフェッショナルを育成します。

HIU の特色

最新のマルチメディア技術を有する「情報の総合大学」

◆緑豊かな快適な環境で最先端の技術を学ぶ

北海道情報大学 (HIU) は、「情報化社会の新しい大学と学問の創造」を建学の理念として、高度情報化社会に求められる新しい時代を開く有為な人材の育成を目指し、平成元年に開学しました。キャンパスは、北海道の大自然が保存される原始の森「野幌森林公園」に隣接しており、学生は緑豊かな快適な環境で学んでいます。

大自然に囲まれたキャンパスも、校舎内に一歩足を踏み入れるとそこは別世界。学内は超高速ネットワーク「ギガビットLAN」により1,000台を超えるコンピュータが接続され、全学生にeメールアドレスが付与されています。また、デザインセンスと技術を磨く「メディアクリエイティブセンター」「モーションキャプチャー」など、最先端の施設・設備を積極的に導入し、次世代教育を実践しています。

◆実践的教育で高い就職決定率を実現

「産・学・研」協同による関連企業や研究機関との連携により、情報技術の最前線の



ニーズに呼応したカリキュラムを確立。生きた教材を活用することで極めて実践的なスキルの習得が可能です。

卒業生の就職先はIT関連企業をはじめ流通、メーカー、官公庁、金融、医療機関など実に多彩です。就職指導コーナーには会社案内・求人票などの就職情報を検索できる専用端末を用意するなど、多角的なサポート体制により、高い就職率を確保しています。

◆本学の取り組み

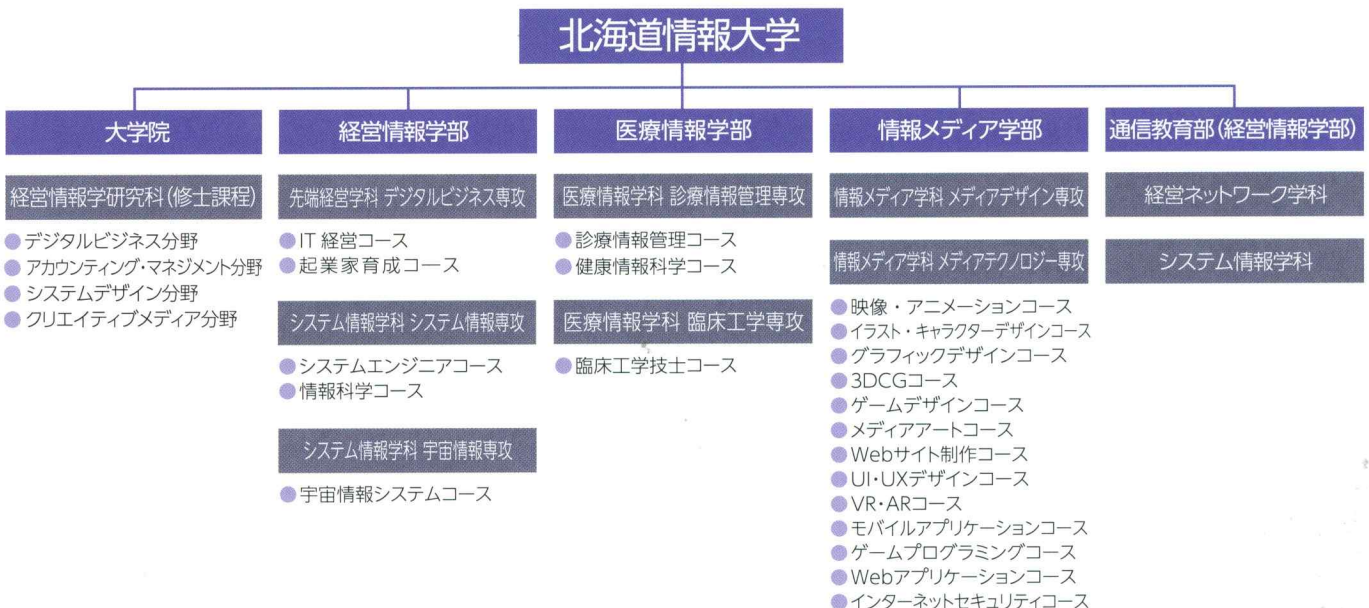
学生の学びモチベーションを高め、能動的学修へと導く「主体的学びへ導くためのICT環境モデル」の整備に取り組んでいます。文部科学省の「私立大学教育研究活性化設備整備事業」に採択されているこの取り組みは、「学生のモチベーションを高める仕組み」「学生参加型の授業モデル」「m(mobile)-Learning環境」づくりによって実現されており、学生と教員が一緒になって切磋琢磨し、相互に刺激を与える場を創り、学生が主体的に問題を発見し解を見いだしていく能動的学修(アクティブ・ラーニング)への転換を強く押し進めています。

◆情報の発信基地としての機能を有する「EDCタワー」

情報の発信基地としての機能を有するこのタワーは地上10階建てで、1Fにエントランス、2Fにレストラン、3Fフロアを学生の憩いの場とし、4F・5F・6Fは情報図書館です。図書館はIT環境を多く取り入れ、自動書庫の設置でスムーズな検索、閲覧を行うことができます。

7Fにゼミ室、8Fに実習室を設置して、9Fに大学院生室、10Fは展望ラウンジと特別会議室が設けられています。このEDCタワーと松尾記念館(本校舎)はスカイウェイで結ばれ、スマートな教育環境を提供しています。

HIU の学科紹介



経営情報学部

■先端経営学科 デジタルビジネス専攻
IT活用の実践的な知識とスキルを身に付け、改革を推進する人材を育成します。

- IT経営コース
- 起業家育成コース



■システム情報学科 システム情報専攻
コンピュータサイエンスなどの深い知識を修得し、高度な情報システムエンジニアを育成します。

- システムエンジニアコース
- 情報科学コース

■システム情報学科 宇宙情報専攻

宇宙開発や宇宙情報利用、ソフトウェア開発に関する知識や技術を修得した人材を育成します。

- 宇宙情報システムコース

医療情報学部

■医療情報学科 診療情報管理専攻

医療情報やシステムに関する知識を修得し、高度医療IT人材を育成します。

- 診療情報管理コース
- 健康情報科学コース



■医療情報学科 臨床工学専攻

専門性・実践性の高い医療情報の知識や技術を身に付け、高度医療IT人材を育成します。

- 臨床工学技士コース

情報メディア学部

■情報メディア学科 メディアデザイン専攻

映像、アニメ、3DCG、ウェブなどの分野で、新しい時代のコンテンツを創造し得る人材を育成します。

■情報メディア学科 メディアテクノロジー専攻

ユビキタスコンピューティング時代の技術を修得し、新技術を生み出し得る高度IT人材を育成します。

- 映像・アニメーションコース
- イラスト・キャラクターデザインコース
- グラフィックデザインコース
- 3DCGコース
- ゲームデザインコース
- メディアアートコース
- Webサイト制作コース
- UI・UXデザインコース
- VR・ARコース
- モバイルアプリケーションコース
- ゲームプログラミングコース
- Webアプリケーションコース
- インターネットセキュリティコース



大学院

■経営情報学研究科(修士課程)

経営や情報、マルチメディアなどの専門分野において、より豊富な学識と実践的で高度な専門知識及び技術修得を追究し、創造性豊かな研究者並びに先端科学技術の発展に貢献できる有為な人材を育成することを目的としています。

研究分野をデジタルビジネス、アカウントティング・マネジメント、システムデザイン、クリエイティブメディアの4分野とし、それぞれに2つの教育プログラムを設定して、これからの社会において活躍する人材の育成を目指します。



通信教育部

大学卒業を目的とした正科生Aや、教員免許状に必要な単位の修得を目的とした科目等履修生などのほか、全国12ヶ所の教育センター(専門学校)に通いながら、高度専門士と学士の学位を同時に取得することができる、ダブルスクールの制度もあります。

- 1 高速専用回線を利用した遠隔教育システムで、大学ならではの高度な教育内容を全国12ヶ所の教育センターで地元にながら学べます。リアルタイムかつ質疑応答可能な臨場感あふれる授業で、確かな実力を養います。
- 2 専門学校とのダブルスクールで学ぶため、卒業時には「学士(経営情報学)」+「高度専門士」の学位・称号を取得できます。そのため、即戦力として大手企業・優良企業からの求人ニーズも抜群。卒業生の就職率は第1期生の卒業以来、常に高いレベルを保っています(過去5年間の平均:99.4%)。また卒業後に大学院へ進学することもできます。
- 3 多くの学生が在学中に国家資格「情報処理技術者試験」を取得しています。その合格率は、他の大学・専門学校と比較してもトップクラスです。
- 4 スクーリング(面接授業)が充実しているのも本学の特色です。東京を含め全国14会場で行われる地方スクーリングと、夏期に行われる北海道・東京・名古屋・大阪・福岡でのスクーリングなどがあり、いずれも本学の教員が授業を行います。

教育センター一覧

- 札幌教育センター
- 名古屋教育センター
- 北九州教育センター
- 鹿児島教育センター
- 秋田教育センター
- 大阪教育センター
- 福岡教育センター
- 沖縄教育センター(那覇・沖縄)
- 新潟教育センター
- 広島教育センター
- 大分教育センター

教職課程

■高等学校教諭1種免許状「情報」「商業」「数学」
中学校教諭1種免許状「数学」

高等学校教諭1種免許状「情報」「商業」「数学」と中学校教諭1種免許状「数学」の教職課程を設置し、優秀な教育者の育成を行っています。

新しく高等学校を卒業する方はもちろん、通信教育部では他の大学や短大、高等専門学校を卒業した方、社会人や教職に就かれている方など、どなたでも教職課程を履修することができます。

また、通信教育部では、ダブルスクールシステムにより、卒業時には高度専門士、国家資格、学士(経営情報学の学位)、教員免許状の4つの資格を同時に取得することが可能です。

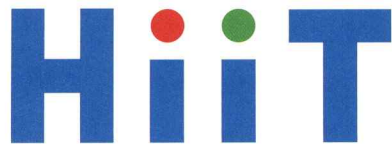
国際交流

2019年11月現在、中国、アメリカ、フィンランド、タイ、ベトナム、マレーシアの6カ国13大学と国際交流協定を結んでおり、広く交流の輪を広げています。

本学では、学生の異文化理解と語学力向上を主目的として、アメリカ・中国・マレーシア・タイへの5つの短期派遣留学プログラムを展開しています。中でもタイのプログラムは、タイ人学生と日本人学生が2か国混合のチームを形成し、共同でウェブサイトや映像作品を制作するワークショップ型のプログラムで、参加学生のコミュニケーション能力や国際的な視野の養成はもとより、協調性や自主性といった、社会で活躍するための総合的な力をも身に付けられる、意欲的なプログラムとなっています。

また、海外学生の受け入れに関しては、中国の南京大学外国語学院との協定に基づいて長期の留学生を受け入れており、現在約30名の中国人学生が本学で学んでいます。





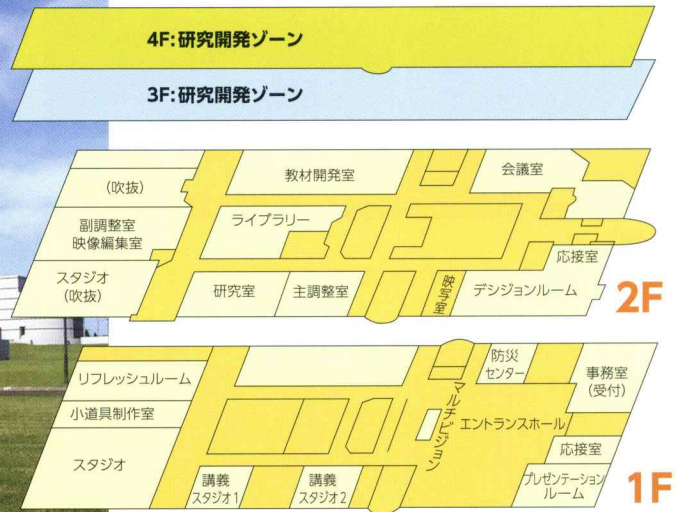
北海道情報技術研究所

Hokkaido Institute of Information Technology

高度情報化社会の発展のために、IT基盤技術を創造する最先端のR&Dフィールドがここにあります。

設立目的

急激なスピードで進化を続けている情報通信技術。特にインターネットを利用したマルチメディア技術の開発は、これからの高度情報化社会の構築と発展のために必要不可欠なものです。北海道情報技術研究所 (HiIT) は、このような社会的な要請に応えるために設立いたしました。



講義スタジオ



副調整室



わが国三番目のテレコム・リサーチ・パーク

HiITは、郵政省(現:総務省)の民活法に基づいて認定された京都府・東京都に次ぐわが国三番目のテレコム・リサーチ・パークです。江別市、株式会社SCC、他の出資による第三セクターのR&Dフィールドです。

立地環境

江別市の「リサーチ・トライアングル・ノース(RTN)構想」の先端産業研究開発団地「RTNパーク」にあり、北海道情報大学をはじめとする教育機関や研究機関に隣接する恵まれた環境の中に位置しています。

最先端の設備

研究所の施設は、インターネット専用回線を利用した教育が実現可能な「共同利用ゾーン」と、インターネットとマルチメディアを活用した高度な情報通信技術やeラーニングシステム及びコンテンツ等の研究開発を行う「研究開発ゾーン」から成り、最先端の設備を誇っています。

最先端の情報通信技術と eラーニングシステムの研究・実践拠点

HiITでは、インターネット及びeラーニングシステムの高度利用に関する研究開発を行っています。

共同利用ゾーン

共同利用ゾーンの中心には、通信帯域及び映像品質が保証されたインターネット専用回線を用いて2チャンネルハイビジョン映像を送り出すことができる各種サーバ設備、主調整室、副調整室、スタジオ、講義スタジオなどの各設備が整備されています。さらに教材開発室、プレゼンテーションルーム、デザインルーム、ライブラリー、会議室などがあり、これらの施設の貸し出しも行き、地域社会での映像制作技術等の普及に貢献しています。



●主調整室

ハイビジョン放送によるライブ授業送信及びVODの管理を行う。

研究開発ゾーン

3・4階にはそれぞれ占有面積534㎡のフロアが研究開発ゾーンとして用意されています。3階は、遠隔教育システム(PINE-NETⅡ)によるライブ授業で使用する教材開発やeラーニングの研究開発を行っており、4階は北海道情報大学がマルチメディア分野の研究センターとして利用しています。恵まれた環境の中でマルチメディア関連技術及びコンテンツなどの研究開発に取り組んでいます。



●副調整室

スタジオ映像の収録や編集を行う設備が勢ぞろい。



●スタジオ

高さ6mの本格的なスタジオ。公開放送も可能。



●デザインルーム

30名収容の会議室。65インチディスプレイを活用したビジュアル会議や、遠隔地とのTV会議が行える。



●eラーニングコンテンツ開発

eラーニング用コンテンツ(教材)を開発する。



●講義スタジオ

マルチメディアを駆使したライブ授業を行うための2つの専用スタジオ。